



レジオネラ症にご注意！ お風呂・加湿器は清潔に

令和5年3月15日

富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和5年第10週分・3月6日～3月12日)

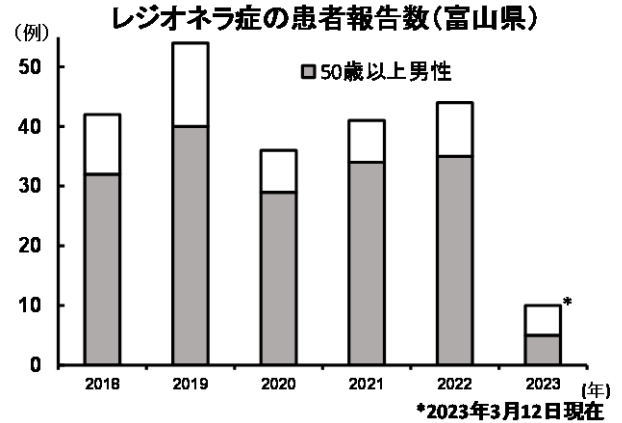
《インフォメーション》

●レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による感染症で、主に公衆浴場、循環式浴槽、加湿器、ビルの屋上などに設置された冷却塔の水中で増殖したレジオネラ属菌を含むエアロゾルを吸入することで感染、発症します。レジオネラ属菌は土壌や水環境に存在し、20～45℃で増殖します。ただし、ヒトからヒトへと感染することはありません。過去には、公衆浴場における集団感染事例が報告されています。

近年は全国で年間2,000～2,300例程度のレジオネラ症が報告されており、50歳以上の男性の報告が多数を占めています。また、レジオネラ症は年間を通して報告されますが、特に夏季に増加する傾向があります。過去5年間の県内のレジオネラ症の報告数は、年間36～54例で推移しており、県内でも全国と同様に50歳以上の男性の報告が70%以上と多くなっています。2023年は3月12日までに10例報告されています(図参照)。また、富山県におけるレジオネラ症の罹患率(人口あたりの患者報告数)は全国の都道府県と比較して高くなっています。

レジオネラ症の主な病型は肺炎です。2～10日の潜伏期の後に、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などを発症し、咳や38℃以上の高熱、悪寒、呼吸困難が見られるようになります。また、下痢や意識障害を起こすこともあります。治療には抗菌薬の投与を行いますが、レジオネラ属菌に適切な抗菌薬治療がなされないと死に至る場合もあります。このため医療機関においては、尿中抗原検出キットを用いた迅速検査を行い、適切な抗菌薬(キノロン系薬、マクロライド系薬)による治療を早期に開始することが求められます。また家庭では追い炊き機能付き風呂、24時間風呂、加湿器などに付着した「ぬめり」にレジオネラ属菌が生息しやすいため、取扱説明書に従って定期的に洗浄などを行い、適切に管理することが感染対策につながります。



《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 519件 (3/7(火)～3/13(月)公表分)
 二類感染症 結核 2件 (①70歳代、男性 ②80歳代、女性)
 四類感染症 レジオネラ症 2件 (①第8週診断分：60歳代、男性、肺炎型
 ②80歳代、男性、肺炎型)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	26.02 (↓)	26.25
2位	感染性胃腸炎	14.48 (↑)	11.24
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.03 (↓)	1.10
4位	RSウイルス感染症	0.55 (↓)	0.62
	咽頭結膜熱	0.55 (↑)	0.28
6位	突発性発しん	0.24 (↑)	0.10



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第10週 令和5年3月6日～令和5年3月12日）

分類	疾患	今週報告分（第10週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			2			2	1	3	8	2	11	25
四類感染症	オウム病									1			1
	レジオネラ症					1	1			5	1	4	10
五類感染症	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									2		3	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									4	1	2	7
	侵襲性肺炎球菌感染症									1	2		4
	水痘（入院例）									1		1	2
	梅毒											2	2
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	117 16.71	212 42.40	341 26.23	178 25.43	401 25.06	1,249 26.02	458	982	2,731	464	3,999	8,634
	RSウイルス感染症	1 0.25		8 1.00	4 1.00	3 0.30	16 0.55	7	9	66	92	21	195
	咽頭結膜熱	2 0.50	1 0.33	1 0.13	9 2.25	3 0.30	16 0.55	22	7	19	16	25	89
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.50		17 2.13	1 0.25	10 1.00	30 1.03	10	2	100	1	90	203
	感染性胃腸炎	23 5.75	30 10.00	46 5.75	35 8.75	286 28.60	420 14.48	228	328	632	344	1,539	3,071
	水痘		2 0.67				2 0.07	1	7	5		14	27
	手足口病									3		5	8
	伝染性紅斑											2	2
	突発性発しん	1 0.25	1 0.33	2 0.25	2 0.50	1 0.10	7 0.24	6	10	17	6	11	50
	ヘルパンギーナ							10					10
	流行性耳下腺炎									3	1	1	5
	流行性角結膜炎			1 0.50			1 0.14	1		4			5
	インフルエンザによる入院患者（※1）	1			1		2	2	1	9	8	23	43

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。

分類	疾患	3月7日（火）～3月13日（月）公表分						累積報告数（令和4年9月27日～）医療機関の所在地ベース							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症 ※2	52	21	155	75	170	46 ※3	519	12,877	6,636	27,590	13,235	37,392	10,525 ※3	108,255
		※2 県報道発表資料の公表日に基づく集計 ※3 陽性者登録センター分						累積報告数（令和2年3月30日～令和4年9月26日）感染者居住地ベース							
		※4 県外、居住地非公表分						11,484	10,019	37,643	13,404	54,143	506 ※4	127,199	

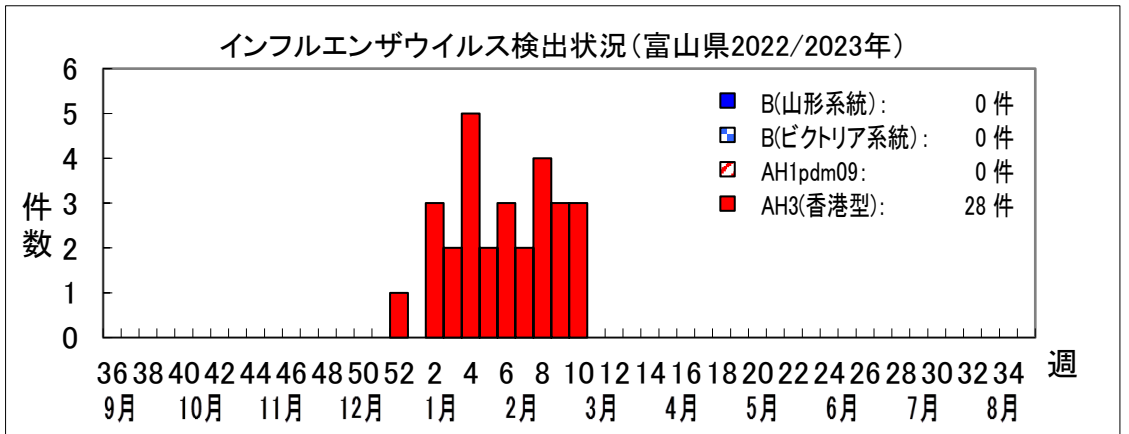
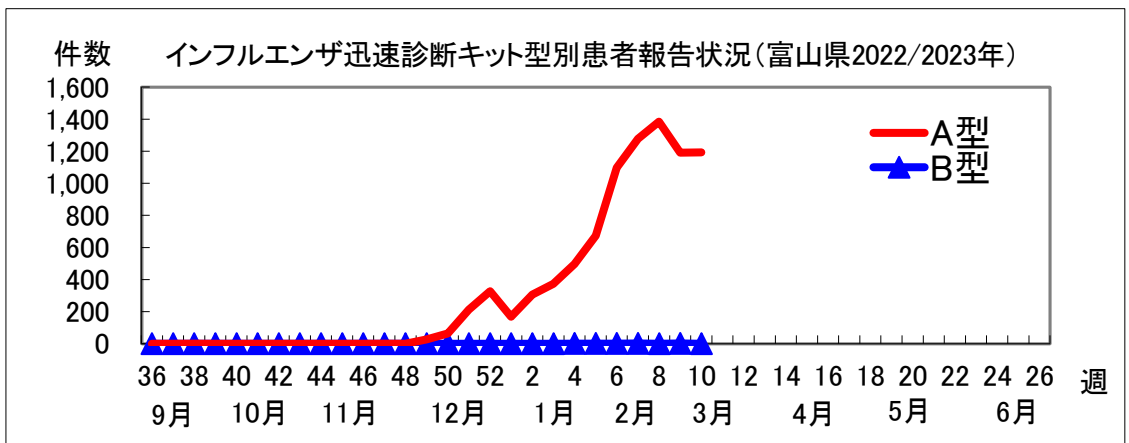
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が95.5%となっています。

第10週(3/6~3/12)：富山県 26.02人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	110	0	7	117
中部	4 / 5	201	0	11	212
高岡	11 / 13	322	0	19	341
砺波	7 / 7	178	0	0	178
富山市	14 / 16	382	0	19	401
富山県	42 / 48 ^{※1}	1,193	0	56	1,249
富山県累計(2022年36週~)		8,795	7	475	9,277

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が42か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



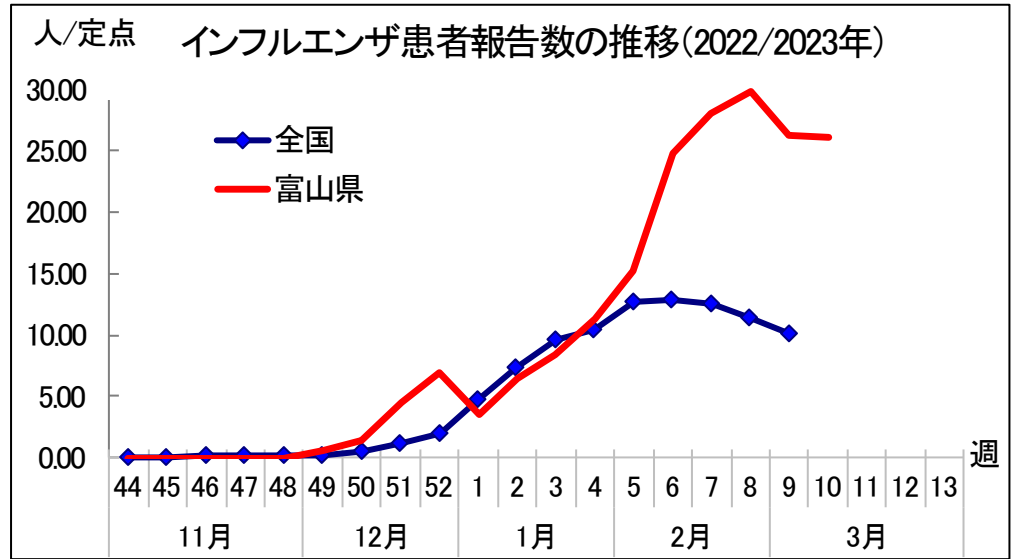


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第10週 (3/6~3/12) : 富山県 26.02 人/定点

新川 HC (16.71)、中部 HC (42.40)、高岡 HC (26.23)、砺波 HC (25.43)、富山市 HC (25.06)

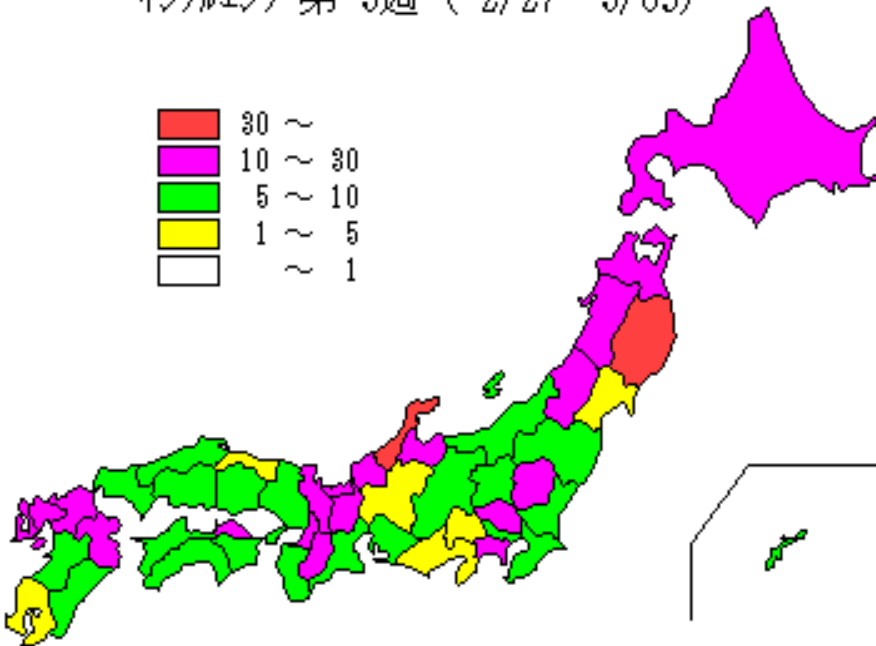
県内の患者報告数は先週から横ばいとなっています。しばらくは流行が継続することが予想されます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第9週 (2/27~3/5)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 10.17 人となり、前週の 11.32 人より減少しました。17 県で前週より増加しています。30 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第9週 (2/27- 3/05)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	10.16	滋賀県	14.18
青森県	15.19	京都府	14.28
岩手県	33.37	大阪府	10.39
宮城県	3.99	兵庫県	9.14
秋田県	12.49	奈良県	11.13
山形県	11.14	和歌山県	8.98
福島県	6.27	鳥取県	4.17
茨城県	8.08	島根県	8.74
栃木県	11.37	岡山県	8.21
群馬県	5.38	広島県	8.98
埼玉県	10.63	山口県	7.94
千葉県	8.51	徳島県	7.78
東京都	8.34	香川県	11.64
神奈川県	11.35	愛媛県	7.05
新潟県	9.80	高知県	7.87
富山県	26.25	福岡県	14.54
石川県	33.77	佐賀県	16.08
福井県	23.46	長崎県	11.94
山梨県	2.90	熊本県	7.28
長野県	9.13	大分県	15.03
岐阜県	3.32	宮崎県	8.81
静岡県	4.16	鹿児島県	3.86
愛知県	8.11	沖縄県	8.05
三重県	8.01	全国	10.17

○感染症発生動向調査報告状況（令和5年2月分）

		2月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1	1		15	17		1	2		20	23
			1.00	0.33		3.75	1.70						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症					2	2		2			7	9
						0.50	0.20						
	尖圭コンジローマ				1	1	2				1	1	2
					1.00	0.25	0.20						
	淋菌感染症					3	3		1			6	7
						0.75	0.30						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3			1	12	16	4	1		1	26	32
		3.00			1.00	12.00	3.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症					2	2					3	3
						2.00	0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。